

## IAUD Newsletter vol.6 第4号 (2013年5月下旬号) 目次

1. 「第2回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」実施報告 . . . . . 1
2. IAUD アワード 2013 募集期間延長&マーク決定 . . . . . 5
3. IAUD 6月の予定 . . . . . 6



UD 検定™

## UD の基本知識を学びその場で検定 第2回 UD 検定・初級 講習会&検定試験 実施報告

IAUD が UD の更なる普及と実現をめざす活動の一環として昨秋にスタートさせた UD 検定の2回目が3月26日(火)、「2012年度 IAUD 成果報告会&定例セミナー」に併設して富士通トラステッド・クラウド・スクエア セミナールーム(東京・浜松町)で実施され、日本全国から集まった幅広い年代や職業の方々約90名が受験しました。今号の Newsletter は、検定委員会の奥田高子副委員長に検定概要と当日の様子について報告していただきます。



熱心に講義を聞き入る検定受験者

### 受験者全員が合格！

「第2回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」は、昨年10月の「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012 in 福岡」において実施した第1回目続くものです。今回は東京開催ということもあり、福岡市で実施した第1回の受験者数を大きく上回る約90名の方にお集まりいただきました。受験者の内訳をみると、会員企業だけでなく非会員企業からも約40名おられたほか、業種別では製造業を中心にサービス業や大学・研究機関、建設業など、モノづくりから街づくりまで幅広く UD に携わる方々にご参加いただきました。その結果、UD 検定・初級の合格ラインとしている正答率70%を受験者全員がクリアされ、「UD 検定・初級認定証」をお送りしました。



UD 検定・初級の認定証

## UDの基礎知識を学習する講習会と検定試験の二部構成



古瀬教授

久保教授

今回も著名なUD専門家による2時間の講習会と、理解度を確認する1時間の検定試験の二部構成で行いました。このセット形式は、その場で学習でき事前準備が不要のため、第1回目の受験者からも「効率的でよい」と高い評価をいただいています。

第一部の講習会では、商品やサービスを正しく選択できる知識や能力を身につけるなど、UDに関する基礎知識を学んでいただきました。当日の会場には情報保障として、手話通訳とパソコン要約筆記をご用意しました。

まず、静岡文化芸術大学・古瀬敏教授からUD7原則をはじめ、年齢と人間の能力の関係やUDとバリアフリーの違いなど、UDの概論をお話いただきました。「個人の尊重」が出発点であるとのことが印象的でした。

続いて京都工芸繊維大学・久保雅義教授には、使いやすさへの工夫や触覚、視覚などによる情報提供の必要性やルールの一貫化、また視認性や作業性、動作性、さらには安全性や安心へのUD配慮事例をお話いただきました。

また、UDを経営マネジメント革新の要件として位置づけている企業が増えていることや、業界としての横断的なUDの取り組みが行われていることも紹介していただきました。



受験者から講義に関する質問も

この後、受験者の方々からのご質問を受けました。ご質問の内容から、UDについての知識や経験を既にお持ちの方にも受験いただいていることが伺えました。

20分間の休憩をはさみ、第二部では理解度テストという形で、50問のマークシート方式の検定試験を1時間実施しました。

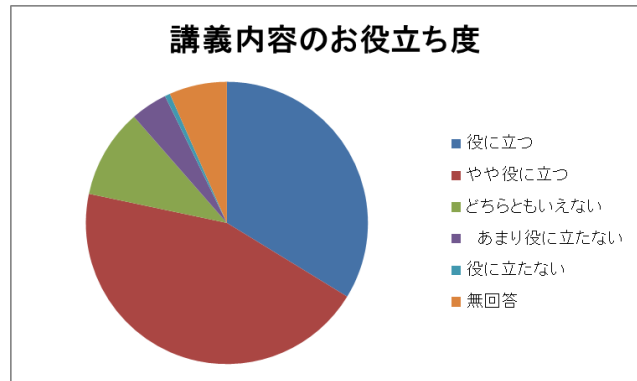
## 講義・テキスト・試験内容とも高評価！

検定終了後に受験者の方にご記入いただいたアンケート結果から、「第2回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」の評価と課題をまとめました。

### お役立ち度の高い講義内容

古瀬先生と久保先生の講義のお役立ち度については、約8割の方が「役に立つ」「やや役に立つ」と高評価をいただきました。

講義の難易度については、7割を超える方が「適当」と高評価をいただく一方、「やや易しかった」「易しかった」と約2割の方がお答えになっており、もう少し掘り下げた内容を聴きたかったとのご要望も伺えます。



好評だった講義内容

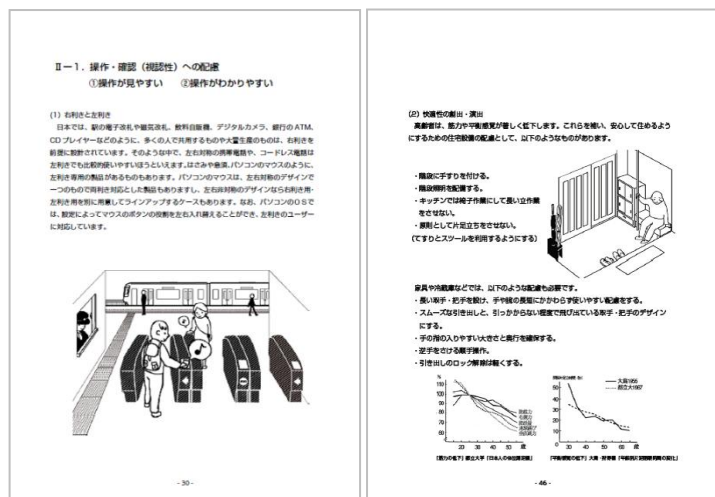
一方、講義時間については「適当」とされた方が6割を占めながらも、4割の方が「やや短い」「短い」とされています。

さらに、「一流の講師のお話が聞けて良かった」「もう少し講義の時間にゆとりがほしかった」「スピードが速く、理解しつつ進めていくのが難しい」などのご意見をいただきました。

講習会と検定試験の同時実施については、今回も約7割の方に「効率的でよい」との評価でしたので、講義時間については今後、全体のバランスの中で検討したいと考えています。

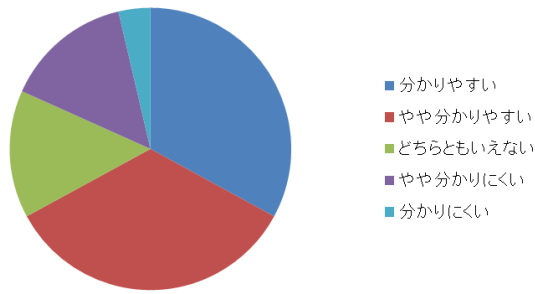
### 大幅に改訂されたテキスト

昨秋に実施した第1回UD検定でのアンケートでは、講習会用のテキストに関して「もっと図や写真がほしい」「さらなる充実を」というご要望を多くいただきました。今回はそれらのご要望を受け、テキストにイラストや図を多く挿入するとともに、内容についても大幅な加筆を行いました。



大幅に改訂された講習会用テキスト

## テキストの分かりやすさ



その結果、テキストのボリュームについては「適当」と評価された方が6割を超え、内容についても「わかりやすい」「ややわかりやすい」が合計で約7割と高い評価をいただきました。今後も随時、さらなる改良を加えてまいります。なお、今回改訂したテキストは第1回目の受験者にも送らせていただきました。

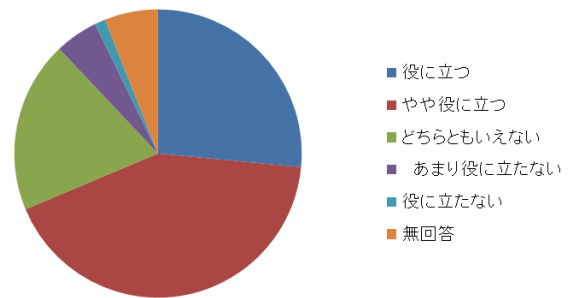
## 課題は試験内容の難易度

試験の難易度については「適当」とされた方が約5割を占めましたが、「やや易しかった」「易しかった」という方も3割を超えました。

お役立ち度については、約7割の方が「役に立つ」「やや役に立つ」とされていることとあわせて考えると、UDの基本を習得していただくというUD検定初級のねらいには合致しているものの、今回受講された方の中には既にUDの実践をされている方が多くいらっしゃったことも影響していると考えています。

「UD検定・初級認定証」の発行は、一定以上の知識をお持ちであることの証明であり、受講者全員が合格ラインをクリアされることが問題なわけではありませんが、試験内容の難易度については今後、検討すべき課題と考えています。

## 試験内容のお役立ち度



## 地方開催や検定回数増加の要望も



受験者から有意義な意見が多数寄せられた

受講と検定のセット料金である受験料5,000円については、約5割の方に「適当」との評価をいただいています。一方、約4割の方が「やや高い」とされていますが、これは「講義にもう少し時間をかけて」ということが主な理由のようです。

さらに、「平日、土日の実施など検定の回数を増やしてほしい」「地方でも検定を実施してほしい」などのご要望も多くありました。

また、「メーカーの工夫や高齢者などの事故の実例、解決策や具体例をもっとたくさん知りたい」「講演会なども行ってほしい」「UDを考えた既存の設備について、より町の人々の実際の声や意見も集めて開示してほしい」など、UDに関する知識を積極的に習得したいという意欲に満ちたコメントも多くいただきました。

## UD 検定・中級の実施へ

今後、受講者のみなさまからいただいたご意見を反映させながら、「UD 検定・初級」のさらなる内容の充実を図るとともに、「UD 検定・中級」を実施するべくテキストの作成や編集を進めています。

ご案内までには今しばらく時間をいただきますが、引き続きご関心をお持ちいただきますようお願いいたします。(了)

【お詫び】「第2回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」開始後、試験問題に誤植が見つかり、試験中のお知らせとなり、大変ご迷惑をおかけいたしました。ここに改めてお詫び申し上げます。

※「第1回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」の開催報告が掲載された Newsletter vol.5 第13号(2012年11月号)は[こちら](#)をご覧ください。



## ～革新的な UD 活動や提案を応援します～ IAUD アワード 2013 募集期間延長 &アワードマーク決定!



多くのご要望にお応えし「IAUD アワード 2013」の募集期間を6月14日(金)まで延長しました。

「IAUD アワード 2013」は、持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案を審査対象としています。すべての受賞対象の中で、審査委員会が優れていると判断したものに金賞、銀賞を贈呈し、その中で最も優れているものに「IAUD アワード大賞」を贈呈し表彰します。

### 「IAUD アワード 2013」の特長

- ① 「IAUD アワード」マークの使用許諾
- ② 国内外の UD 専門家による厳正な審査
- ③ 企業・団体の業績や規模にかかわらず、UD 普及活動や提案そのものを評価
- ④ 低コストでの高い PR 効果

今回から UD において一定のレベルを満たしているものに「IAUD アワード」を授与し、授与された対象は「IAUD アワード 2013」マークを UD の普及啓発のために活用することができます。

第1次審査応募締め切りは**6月14日(金)**です。皆様からのご応募をお待ちしております。

※応募希望の方、またアワードの詳細は[こちら](#)をご覧ください。



「IAUD アワード 2013」マーク

# IAUD 6月の予定



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4 16:00～ 臨時研究部会 @IAUD サロン	5	6 14:30～ メディア UDPJ @IAUD サロン	7	8	9
10	11 15:00～ 運営委員会 @IAUD サロン	12	13	14 13:30～ 手話用語 SWG @IAUD サロン	15	16
17	18	19	20 15:00～ 協同事業検討委 員会 @IAUD サロン	21 13:00～ 移動空間 PJ @NTT データ 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	22	23
24 15:00～ 住空間 PJ 視察 @コドモ里山ラ ボ	25 14:00～ 新理事顔合せ @セルリアンタワ ー東急	26	27	28 13:00～ 標準化 WG 研 究 @IAUD サロン	29	30

※予定は変更になることもあります。ご了承ください。

Newsletter では、誌面を会員の皆さまの UD に関わる情報交換の場と位置づけています。ぜひ、会員企業の UD 商品開発事例や PJ/WG の活動成果事例等の情報、国内外の UD 関連イベント、シンポジウム等の開催情報をお寄せ下さい。

次号は 6 月上旬発行予定

特集：第 3 回定例セミナー 余暇の UDPJ 企画

CM 字幕勉強会「CM 字幕に関する最新動向」開催報告（予定）

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階

電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：[salon@iaud.net](mailto:salon@iaud.net)